

千葉県夷隅保健所（夷隅健康福祉センター）発

2021年 11月 30日 配信

## [夷隅感染症情報]（2021年 第10報）

2021年第43週 ～ 2021年第46週（R3年 10/25 ～ R3年 11/21）

### 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行と、新型コロナウイルス感染症の第6波の発生が懸念されています

※10月25日～11月30日までは引き続き下記対策にご協力ください。

#### 県民の皆様へ

- 基本的な感染対策を徹底 ～会話するときはマスクを着用～  
「3つの密」を徹底的に避けるとともに、「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」等の基本的な感染対策を行ってください。
- 感染拡大している地域への不要不急の移動を極力控える
- 飲食時の注意 ～認証店・確認店の利用を・一定の距離を確保できる人数で～

#### 事業所の皆様へ

- 職場での対策 ～在宅勤務・時差出勤の人との接触を低減する取り組みを～
- 感染防止のための取組 ～マスクの着用、手洗いや手指消毒、咳エチケット等～

#### 感染が心配な時は・・・

- 発熱等の症状を感じたら、日ごろ通院している医療機関か、お住まいの近くにある医療機関に、まずは電話で御相談ください。（医療機関を受診する際は、必ず電話等で事前予約してから受診してください。）
- なお、県ホームページでは、相談窓口の電話番号（コールセンター、市町村、発熱外来）を掲載しています。

◎千葉県発熱相談コールセンター  
（電話番号） 0570-200-139  
（対応時間） 24時間（土日・祝日を含む）

◎夷隅保健所（夷隅健康福祉センター）での相談  
（電話番号） 0470-73-0145  
（対応時間） 平日 8:30～17:15

### 1 新型コロナウイルス感染症について

＜千葉県ホームページより＞

#### 1) 千葉県内で確認された感染者数（令和3年11月21日現在）

陽性者数(累積) ( )内は新規感染者	現在の感染者数	退院・療養終了	死亡
100,441(6)	46	99,368	1,027

#### 2) PCR 検査実施状況（令和3年11月21日現在）

累積検査実施人数 (陰性化確認検査を除く)	直近1週間の検査人数	直近1週間の 陽性者数	直近1週間の 陽性割合(%)
1,166,780	12,975	48	0.37

## 2 管内の感染症発生状況

管内では、第45週に1例の朝刊製出血大腸菌と第46週に2例のつつが虫病の発生届がありました。新型コロナウイルス感染症は、管内の医療機関から管外居住者分も含めて、第43週～第46週までに発生はありませんでした。

### ● 管内の全数把握感染症情報 ● <類別・疾患別集計表>

区 分	43週-46週	累計 (2021年 発生分)
1 類感染症	0	0
2 類感染症		
結核	0	10
3 類感染症	1	3
4 類感染症	2	18 (つつが虫病 13 E型肝炎 2)
(※管内居住の患者数)		(日本紅斑熱 2 レジオネラ症 1)
5 類感染症	0	0
(※管内医療機関からの届出数)		

### ● 管内定点把握対象疾患 ●

疾患名 (インフルエンザ及び小児科定点疾患)	2021年 1週~42週 の累計	直近5週の届出数				
		42週	43週	44週	45週	46週
1 インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び 新型インフルエンザ等感染症を除く)	1	0	0	0	0	0
2 RSウイルス感染症	5	0	0	0	0	0
3 咽頭結膜熱	13	0	0	0	1	0
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25	0	1	0	1	1
5 感染性胃腸炎	25	1	1	0	0	1
6 水痘	6	0	0	1	0	0
7 手足口病	1	0	0	0	0	0
8 伝染性紅斑	1	0	0	0	0	0
9 突発性発しん	5	0	0	0	0	0
10 ヘルパンギーナ	7	0	0	0	0	0
11 流行性耳下腺炎	3	0	0	0	0	0

<参考> 夷隅健康福祉センター管内の定点医療機関は、

インフルエンザ定点 : 5 医療機関

小児科定点 : 3 医療機関

の協力を得ています。

### 3 県内の感染症発生状況 (出典:千葉県感染症情報センター 2021年第46週 週報より)

一類感染症	今週	累計(年)
エボラ出血熱	0	0
クリミア・コンゴ出血熱	0	0
痘そう	0	0
南米出血熱	0	0
ペスト	0	0
マールブルグ病	0	0
ラッサ熱	0	0

二類感染症	今週	累計(年)
急性灰白髄炎	0	0
結核	17	766
ジフテリア	0	0
重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0
中東呼吸器症候群(MERS)	0	0
鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0
鳥インフルエンザ(H7N9)	0	0

三類感染症	今週	累計(年)
コレラ	0	0
細菌性赤痢	0	1
腸管出血性大腸菌感染症	1	120
腸チフス	0	0
パラチフス	0	0

四類感染症(その1)	今週	累計(年)
E型肝炎	1	27
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)	0	0
A型肝炎	0	5
エキノコックス症	0	0
黄熱	0	0
オウム病	0	0
オムスク出血熱	0	0
回帰熱	0	0
キャサヌル森林病	0	0
Q熱	0	0
狂犬病	0	0
コクシジオイデス症	0	0
サル痘	0	0
ジカウイルス感染症	0	0
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	0	0
腎症候性出血熱	0	0
西部ウマ脳炎	0	0
ダニ媒介脳炎	0	0
炭疽	0	0
チクングニア熱	0	0
つつが虫病	3	27
デング熱	0	2
東部ウマ脳炎	0	0
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	0	0
ニパウイルス感染症	0	0

四類感染症(その2)	今週	累計(年)
日本紅斑熱	1	17
日本脳炎	0	0
ハンタウイルス肺症候群	0	0
Bウイルス病	0	0
鼻疽	0	0
ブルセラ症	0	0
ベネズエラウマ脳炎	0	0
ヘンドラウイルス感染症	0	0
発しんチフス	0	0
ボツリヌス症	0	0
マラリア	0	0
野兔病	0	0
ライム病	0	0
リッサウイルス感染症	0	0
リフトバレー熱	0	0
類鼻疽	0	0
レジオネラ症	4	78
レプトスピラ症	0	0
ロッキー山紅斑熱	0	0

五類感染症(全数)	今週	累計(年)
ア메ーバ赤痢	1	19
ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	0	5
カルバベネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	55
急性弛緩性麻痺	0	0
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	1	31
クリプトスポリジウム症	0	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	0	10
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	16
後天性免疫不全症候群	1	28
ジアルジア症	0	1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	3
侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0
侵襲性肺炎球菌感染症	0	37
水痘(入院例)	1	12
先天性風しん症候群	0	0
梅毒	1	194
播種性クリプトコックス症	0	2
破傷風	0	5
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	4
百日咳	1	21
風しん	0	1
麻しん	0	0
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0

新型インフルエンザ等感染症(その1)	累計
新型コロナウイルス感染症*	100,447

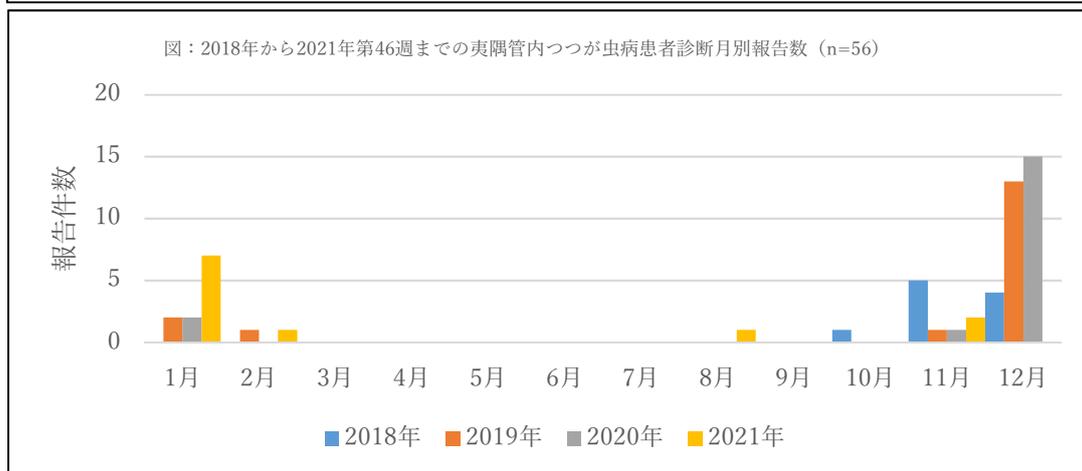
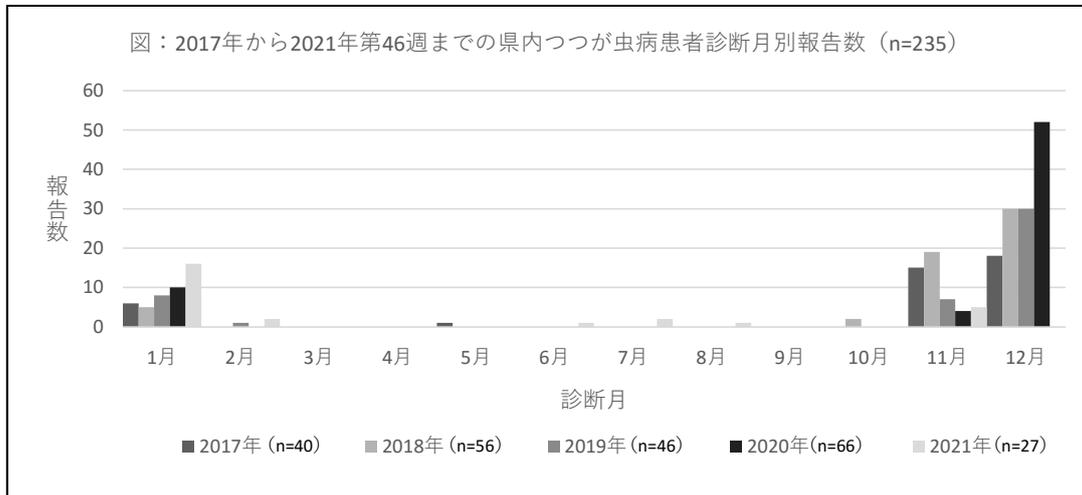
新型インフルエンザ等感染症(その2)	今週	累計(年)
新型インフルエンザ	0	0
再興型インフルエンザ	0	0

\* 千葉県報道発表による(11月23日15時現在)

## 【今週の注目疾患】 …… つつが虫病 ……

2021年第46週に県内医療機関からつつが虫病が3例報告され、第44週以降、計5例が報告されている。性別では男性3例、女性2例であった。年代別では60代が2例のほか、30代、70代、80代がそれぞれ1例であり60代以上の高齢者が多く見られた。保健所管内別では、安房保健所管内が3例、夷隅保健所管内が2例であった。

県内では、例年11月から1月にかけて患者数が増加する傾向がみられており、今後の発生動向に注意が必要である(図)。



つつが虫病の病原体は *Orientia tsutsugamushi* と呼ばれるリケッチアで、細胞外では増殖できない偏性細胞内寄生細菌である。ダニ類の一種であるツツガムシが媒介する。わが国で本菌を媒介するツツガムシは、アカツツガムシ (*Leptotrombidium akamushi*)、タテツツガムシ (*L. scutellare*)、フトゲツツガムシ (*L. pallidum*) の3種のツツガムシが主であり、それぞれのツツガムシの0.1~3%が菌をもつ有毒ツツガムシである。ヒトはこの有毒ツツガムシに吸着されると菌に感染する<sup>1)</sup>。

つつが虫病の潜伏期間は5~14日で、典型的な症例では高熱を伴って発症し、皮膚には特徴的なツツガムシの刺し口(黒色痂痕)がみられ、その後数日で体幹部を中心に発疹がみられるようになる。また、患者の多くは倦怠感、頭痛を訴え、患者の半数には刺し口近傍の所属リンパ節、あるいは全身のリンパ節の腫脹がみられる。治療が遅れると播種性血管内凝固をおこすことがあり、多臓器不全、死に至る場合もある<sup>1)</sup>。

本症の予防に利用可能なワクチンはなく、ダニの刺咬を防ぐことが最も重要である。具体的には、発生地域に立ち入らないこと、立ち入る際にはダニの付着を防ぐため肌の露出が少ない服装にすること、ダニ忌避剤を使用すること、作業後には入浴し付着したダニを洗い流すことなどである<sup>1)</sup>。また、疑わしい症状があった場合には、早めに医療機関を受診することが重要である。

## 4 12月1日は世界エイズデーです

世界エイズデー2021 のテーマ 「レッドリボン 30周年 ～Think Together Again～」

“レッドリボン(赤いリボン)”は、世界エイズデーキャンペーンをはじめ、HIV／エイズに関する運動の世界的なシンボルです。

この“レッドリボン”がエイズのために使われ始めたのは、アメリカでエイズが社会的な問題となってきた1980年代の終わりごろでした。このころ、演劇や音楽などで活動するニューヨークのアーティスト達にもエイズがひろがり、エイズに倒れて死亡するアーティスト達が増えていきました。そうした仲間達に対する追悼の気持ちとエイズに苦しむ人々への理解と支援の意思を示すため、“赤いリボン”をシンボルにした運動が始まりました。

この運動は、その考えに共感した人々によって国境を越えた世界的な運動として発展し、UNAIDS(国連合同エイズ計画)のシンボルマークにも採用されています。レッドリボンは、あなたがエイズに関して偏見をもっていない、エイズとともに生きる人々を差別しないというメッセージです。

### < 感染症情報のリンク先 >

- ・ 国立感染症研究所 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/>
- ・ 千葉県健康福祉部疾病対策課 <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/index.html>
- ・ 千葉県感染症情報センター (千葉県衛生研究所感染症学研究室内)  
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/index.html>
- ・ 厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/>
- ・ 厚生労働省検疫所 (FORTH) <http://www.forth.go.jp/>

### < 結核に関する情報のリンク先 >

- ・ 1) 国立感染症研究所:IDWR 注目すべき感染症 ダニ媒介感染症 つつが虫病・日本紅斑熱
- ・ <https://www.niid.go.jp/niid/ja/tsutsugamushi-m/tsutsugamushi-idwrc/10682-idwrc-2136t.html>

### < エイズに関する情報のリンク先 >

- ・ 1) 令和3年度「世界エイズデー」キャンペーン  
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/eizu/index.html>

### 感染症情報の受信先設定について

日頃、感染症対策の推進に御協力いただきありがとうございます。

#### 【連絡】

登録アドレスの廃止、変更等は連絡願います。

#### 【利用にあたっての注意】

『夷隅感染症情報』の感染症の説明等は主に公的機関の情報を基に作られ、できるだけ最新で正確なものを発信するよう努めておりますが、御利用に際しては、利用機関の責任において御使用ください。また、メールの安全性についても県庁のネットワークシステムの一環として安全性の確保を図っておりますが、受信先におきましてもセキュリティー等の注意をお願いします。

※このアドレスは送信専用です。お問い合わせの際には下記まで御連絡ください。

\*\*\*\*\*

#### <配信元>

千葉県夷隅健康福祉センター (夷隅保健所)

#### 【お問い合わせ先】

[isumiho3@mz.pref.chiba.lg.jp](mailto:isumiho3@mz.pref.chiba.lg.jp)

\*\*\*\*\*

